

研究情報公開資料（オプトアウト用）

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記 12.の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)	YCR19011
1 研究課題名	PIP 関節人工関節掌側アプローチの治療成績 －PIP 関節屈曲拘縮・側屈予防に着目したセラピィの工夫－
2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 手の外科・マイクロサージャリーセンター 作業療法士 竹厚 和美
3 研究期間 調査期間	研究期間 開始：院長許可後 ～ 終了：2019年12月31日 情報等調査期間 開始：2017年10月1日 ～ 終了：2018年3月31日
4 研究の背景・目的 ・意義・方法等	【目的】当院では、PIP 関節変形性関節症に対し一体型シリコンインプラントでの人工関節置換術掌側アプローチを行なっています。術後は痛みが取れたり、指が動かしやすくなりますが、関節の拘縮や変形が残る場合もあるため、今までリハビリで使用していた装具に工夫を加えました。今回、手術後の成績と装具の効果について統計学的に検討し、その結果を第 31 回日本ハンドセラピィ学会学術集会で報告します。このことが、当院で人工関節置換術を受けられた方の術後成績向上に寄与すると考えております。
5 研究の対象 となる方	対象は 2017 年 10 月～2018 年 3 月に当院にて手指 PIP 関節変形性関節症に対し一体型シリコンインプラント人工関節置換術を行なった患者さまの中で、下記に示した情報を記録できていた方
6 試料・情報等の 利用目的、利用方法	当院での人工関節置換術の成績が良好か、工夫を加えたりハビリが有用かどうか検討するため、またその結果を第 31 回日本ハンドセラピィ学会学術総会で報告するために、以下の情報を利用させていただきます。
7 研究に用いる試料・ 情報の種類(項目)	病名、年齢、性別、患指、疼痛 VAS、関節可動域、握力、ピンチ力、DASH
8 試料・情報を利用 する者の範囲	上記 2 と同じ範囲の者
9 試料・情報の 管理責任者	上記 2 に示した研究責任者
10 計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります
11 その他の開示 すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。
12 お問い合わせ先	試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人（あるいは代理人）が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。 連絡先所属・氏名：手の外科・マイクロサージャリーセンター 竹厚 和美 住所：東京都千代田区二番町 7-7 電話：03-3261-0401 FAX：03-3261-0402 メール：k-takekou@mcube.jp

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして 6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。

